

【重大な脅威】 男子児童も狙われている！



「金銭セクストーション」 対策が急務

性的搾取に 私たちの世代で終止符を打つプロジェクト

NPO 法人 ぱっぷす：PAPS



ぱっぷすの活動



アウトリーチ
居場所支援



相談支援



削除要請



アドボカシー

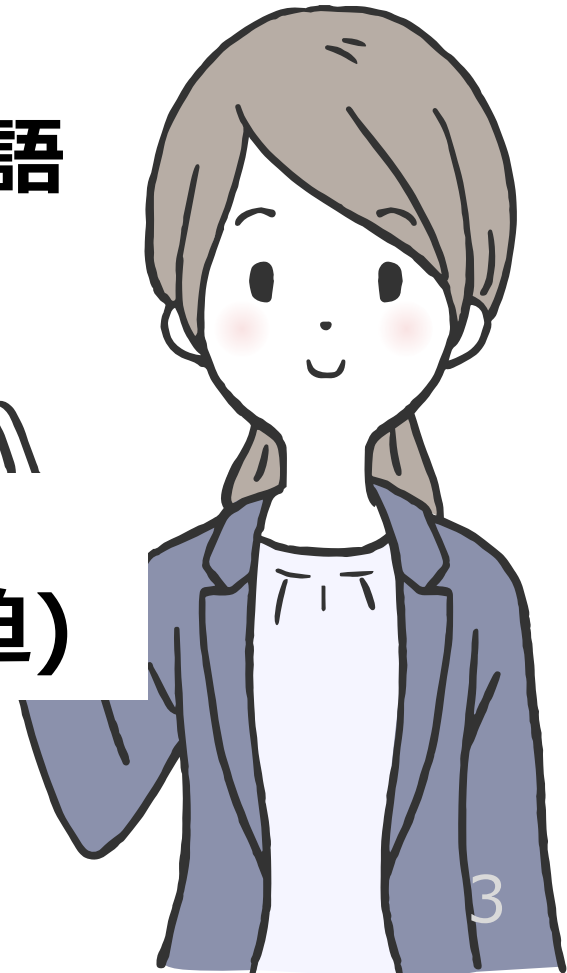
- ・ アウトリーチ：支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し声掛けなどを行い福祉が積極的に働きかけて情報・支援を届けるプロセスのこと。
- ・ 削除要請：本人に代わって拡散した性的画像記録の削除要請を行うこと
- ・ アドボカシー：広報・啓発・政策提言などのこと

金銭セクストーションとは？

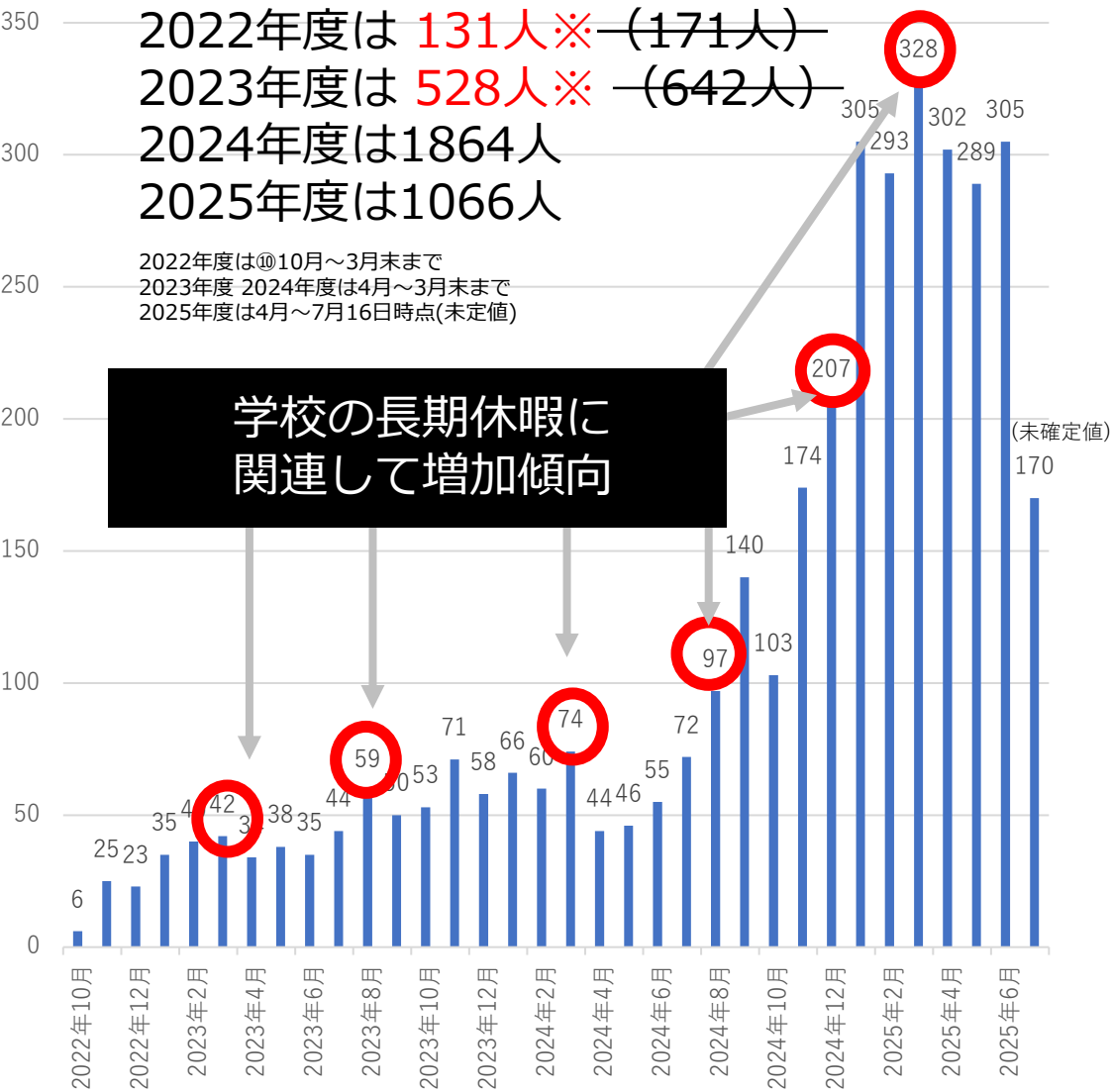
「セクストーション」とは、
Sex (性)+ Extortion(脅迫)を合わせた合成語



「金銭セクストーション」とは、
Financial (金銭)+ Sex (性)+ Extortion(脅迫)

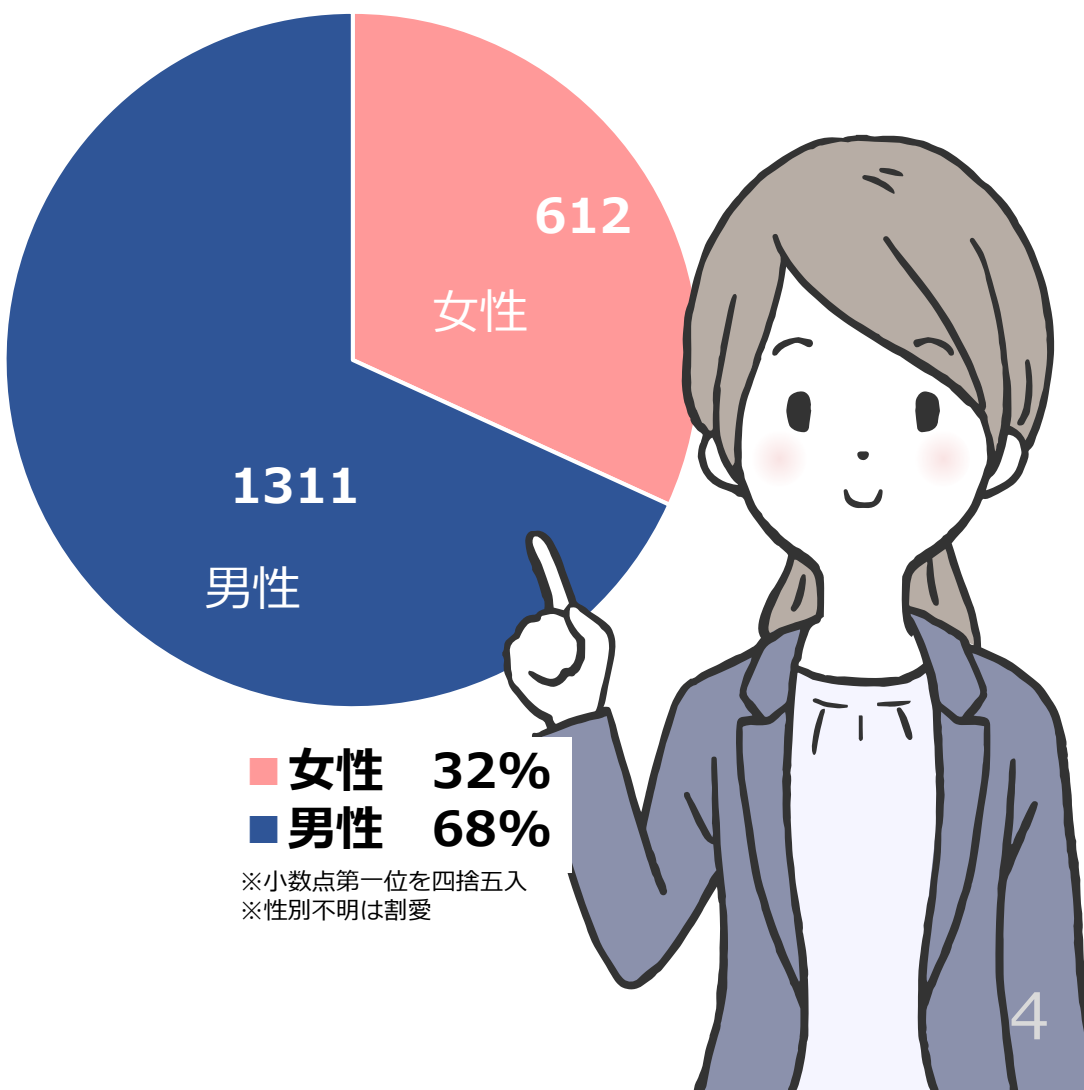


ぱっぷすに寄せられた
セクストーション新規相談人数

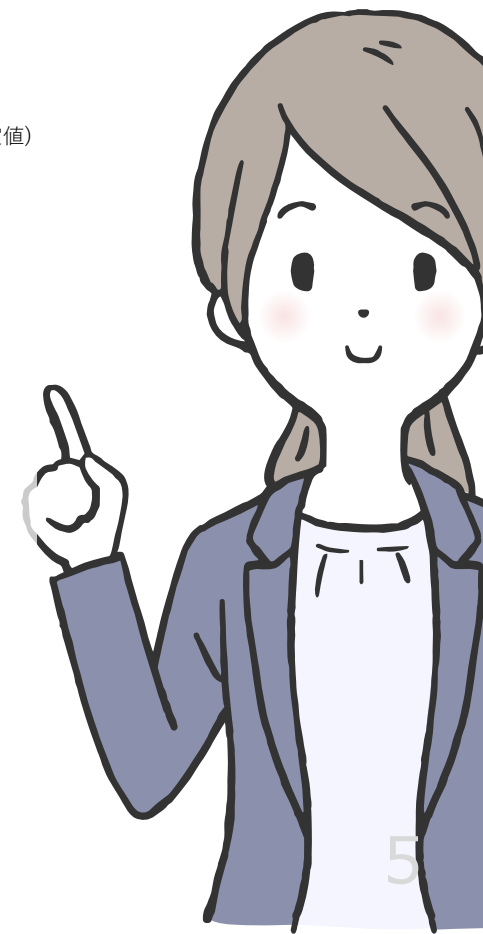
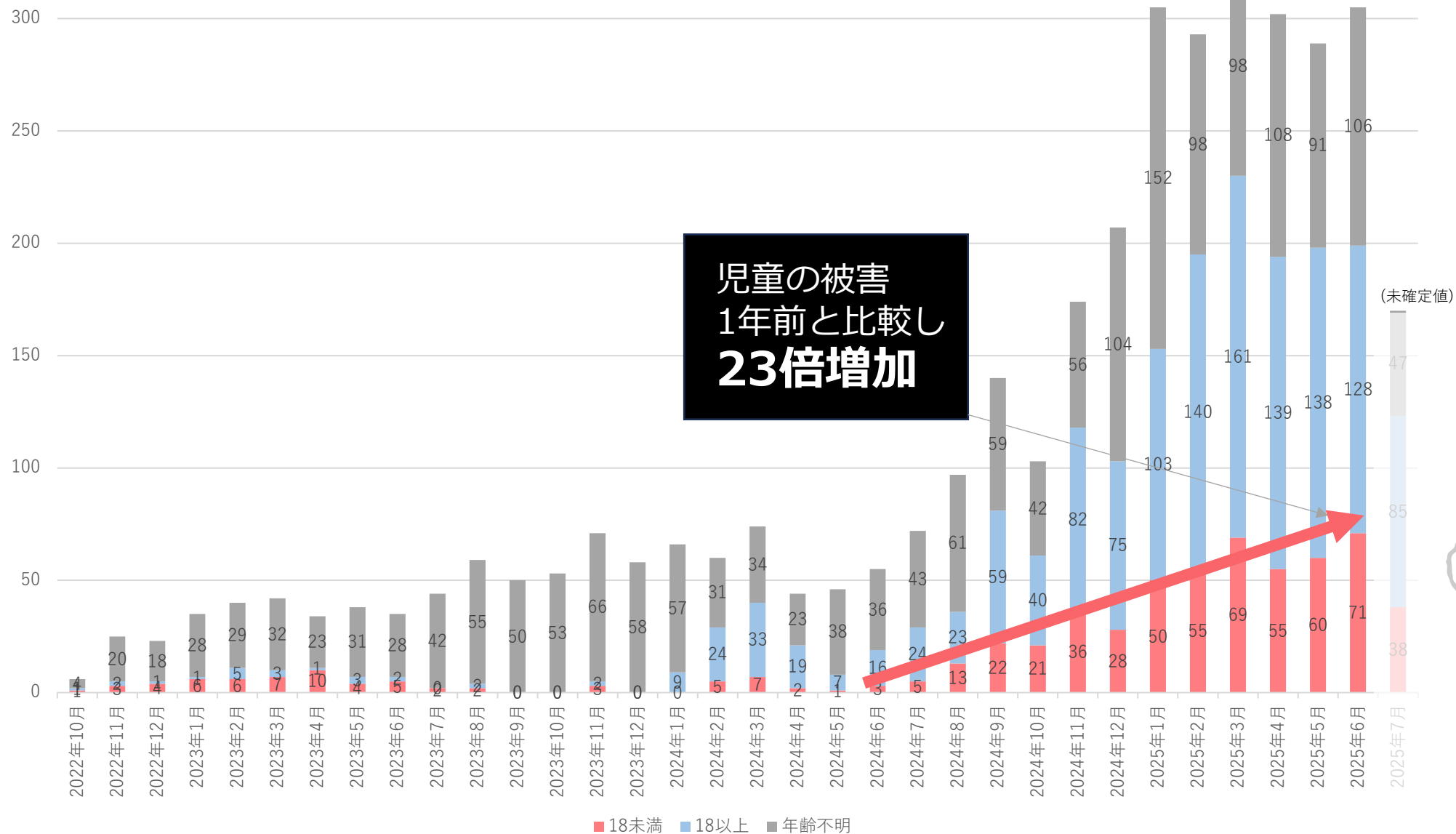


※上記解説につきまして2022年度171人ではなく131人、2023年度は642人ではなく528人でした。お詫びして訂正します。 2023年7月23日

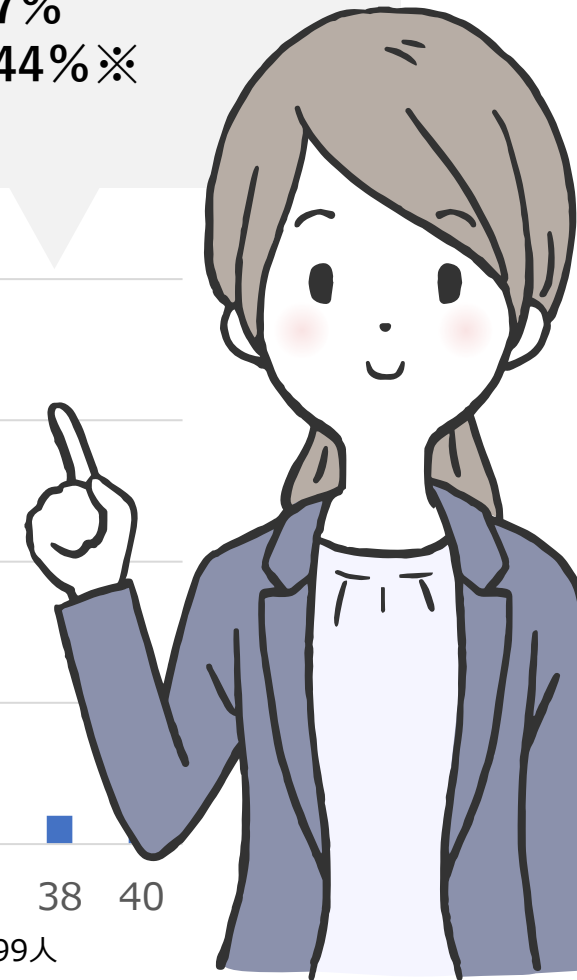
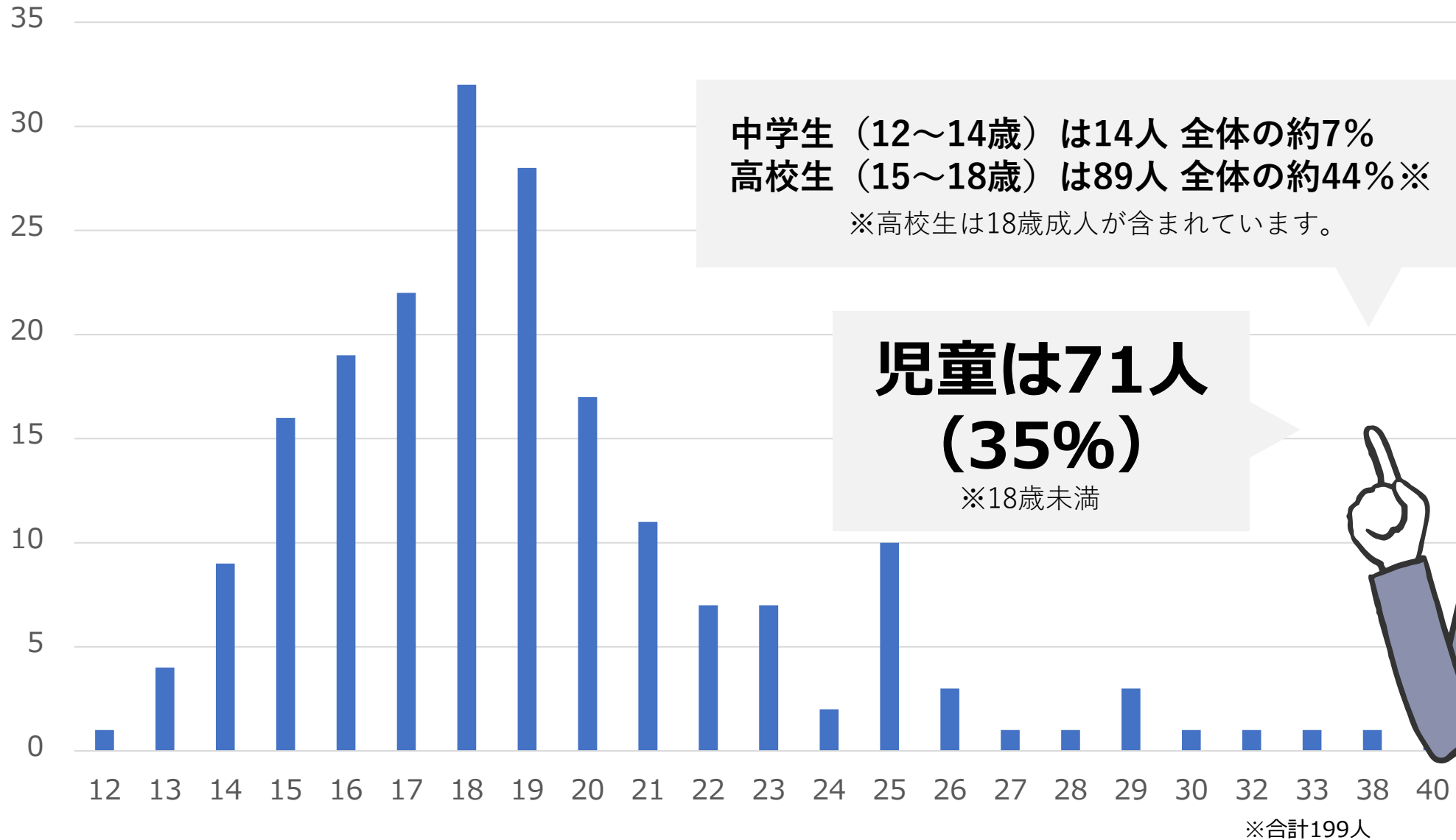
男女別
2022年10月～2025年7月16日
※性別が特定できている相談者1923人の円グラフ



セクストーション新規相談人数（年齢別計）



2025年6月のセクストーション被害年齢別計

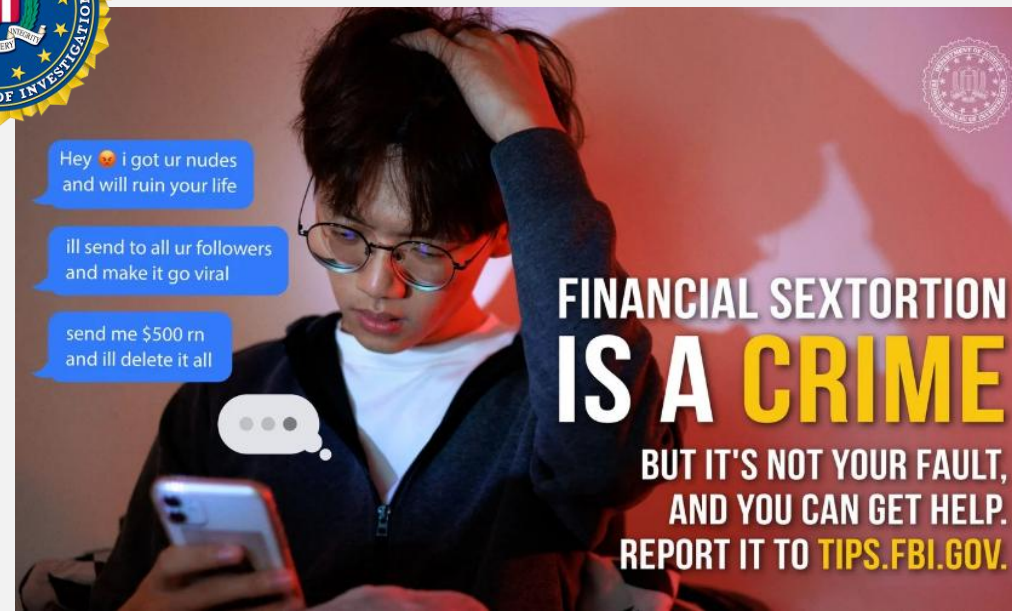




米国FBI: 「金銭セクストーション」は 「急速にエスカレートする脅威」

US FBI: 'Financial sextortion' is a 'rapidly escalating threat'

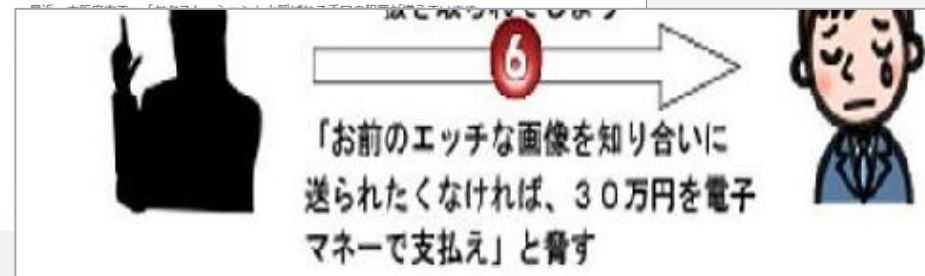
2024年1月17日発表 FBIサイト内に特集ページ設置



国内では2022年頃を最後にサイバー犯罪対策で
取り上げられたものの更新なし



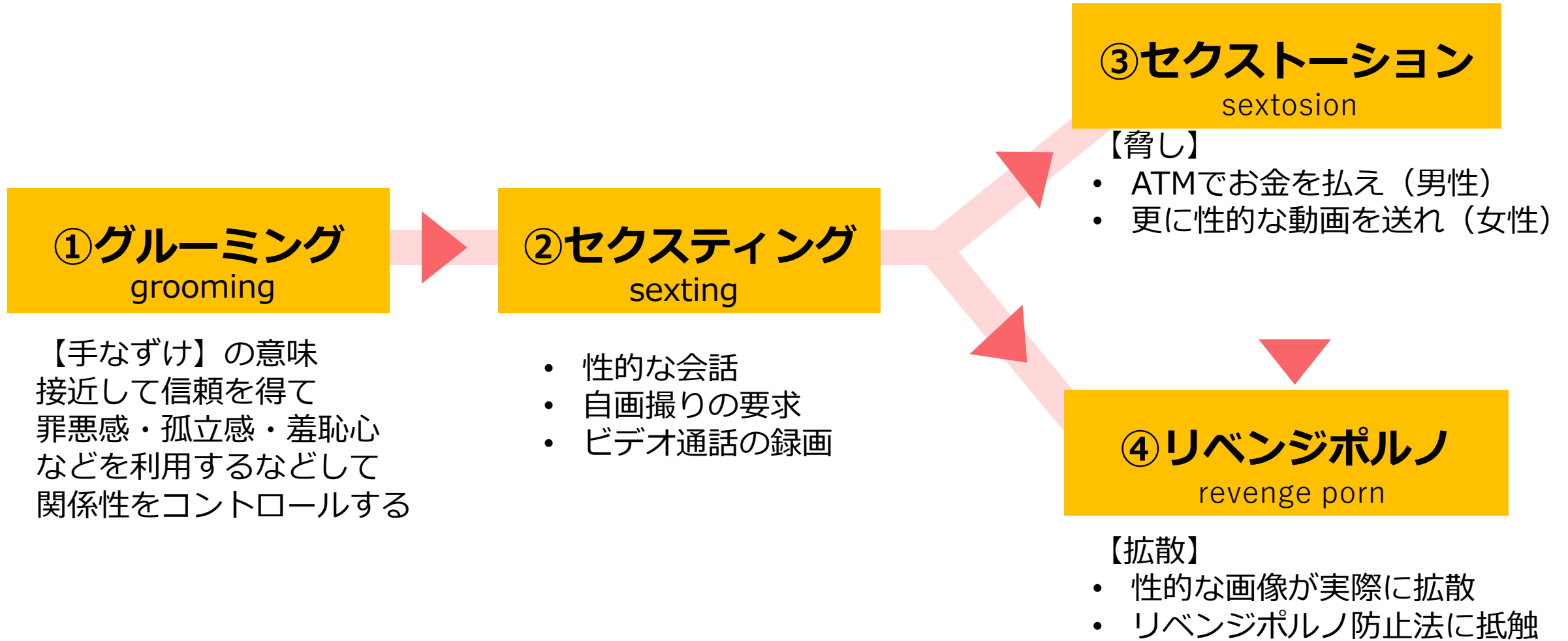
2025年8月、夏休み
まだ対策をしていない
日本の若者がターゲットに！



米国のセクストーション被害対策の経緯

年月	米国の経緯	ぱっぷす
2022年10月	米国NCMEC（全米失踪・被搾取子どもセンター：準政府民間機関）とぱっぷすとでミーティング。セクストーション被害急増の報告を受ける。ぱっぷすも相談カテゴリーに「セクストーション被害」を追加	
2022年12月	南カリフォルニア州：17歳男子高校生がInstagramを通じたセクストーション被害で自殺。事件は社会問題化	月23人の被害相談
2023年4月	司法省の被害者局（OVC）やOJJDP（青少年少年更生局）警察や支援者が現場で使える対応マニュアルが整備	月34人の被害相談
2023年6月	FBIとICAC（児童搾取対策連携）セクストーションの被害者急増を発表。→ 警察の捜査が全米で拡大	月35人の被害相談
2024年1月	アメリカ連邦議会上院の司法委員会「ビッグテックとオンライン上の児童性的搾取の危機」公聴会にザッカーバーグ氏が召喚され、被害者家族の前で起立し、謝罪。TikTok、Snapchat、Twitter、Discord のCEOも召喚	月66人の被害相談
2024年7月	NCMECは、Instagram等のSNS企業との連携強化プロジェクトを開始	月72人の被害相談 セクストーション被害特設ページ作成
2025年2月	南カリフォルニアの事件で加害者4名を逮捕・起訴	月293人の被害相談
2025年4月	上院ではSNS企業に安全優先義務を課す法案が圧倒的多数で可決され、下院での審議中	月301人の被害相談
2025年5月	FBIは国際的なセクストーション犯罪グループ、コートジボワールやイボワール出身の関係者を逮捕	月287人の被害相談

グルーミングからセクストーション



Aさんのケースについて（セクストーション）



言語交換アプリで知り合った海外の女性とInstagramのテレビ通話で話をしたところ、キミ体つきイイね、カラダ見せてよと言われ海外の人ってそうなんだと思い裸を見せた。

後で録画していると言われて、Instagramのフォロワーにバラまかれたくなかったら、コンビニのAppleギフトカードで5万振り込むように言われた。

15分後までにAppleギフトカードのIDを送らないといけない。
フォロワーには同級生もいるので、相談中にコンビニの前まで来てしまった。

事例 1

And I will ruined your life お前の人生を台無しにしてやる

I will make sure all your friends see your photos and they will text you お前の友達全員が写真を見て、テキストを送ってくるだろう

If you don't get the card now and i will forgive you right now 今すぐお前がカードを入手できたら今すぐ許してやってもいいぞ

I will post it 今すぐ投稿するぞ

#@!% #@!% #@!% #@!% #@!% #@!% #@!% #@!% #@!% #@!%

Just get the 20000 yen now

Apple Card 早く 20000円のApple Cardを入手しろ

英語話者ではない誤った内容

事例 2

ねえ、私はあなたのヌードとすべてを持っています。



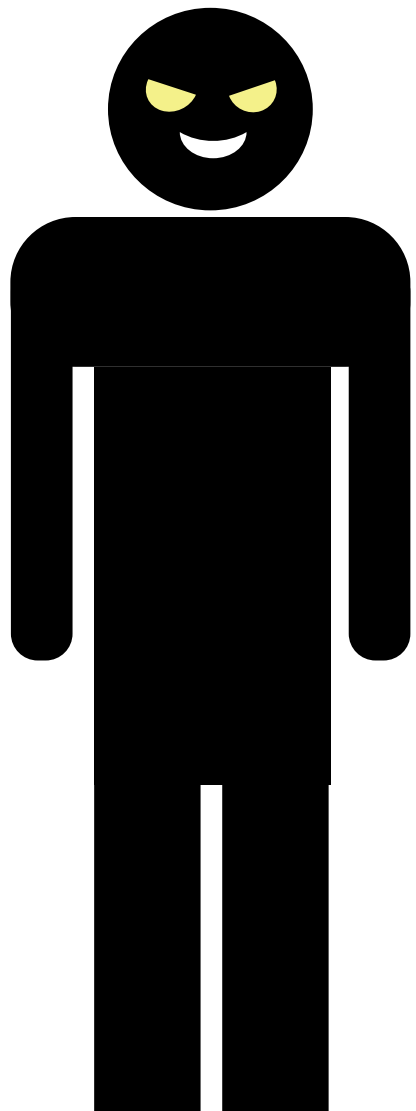
遵守する、さもないと投稿し続けるよ

#@!% #@!% #@!% #@!% #@!% #@!%

日本語翻訳アプリを使った変な翻訳

加害者のトリックを知る「2つのタイプ」

two types



性的画像目的詐欺タイプ

SNSを用いて被害者に接近し、1対1のやり取りを通じて、ある程度の信頼感を得て、性的な画像などを軽度のものから重度のものへ進展させて段階的に提供させる



ある時点で脅し・画像拡散する

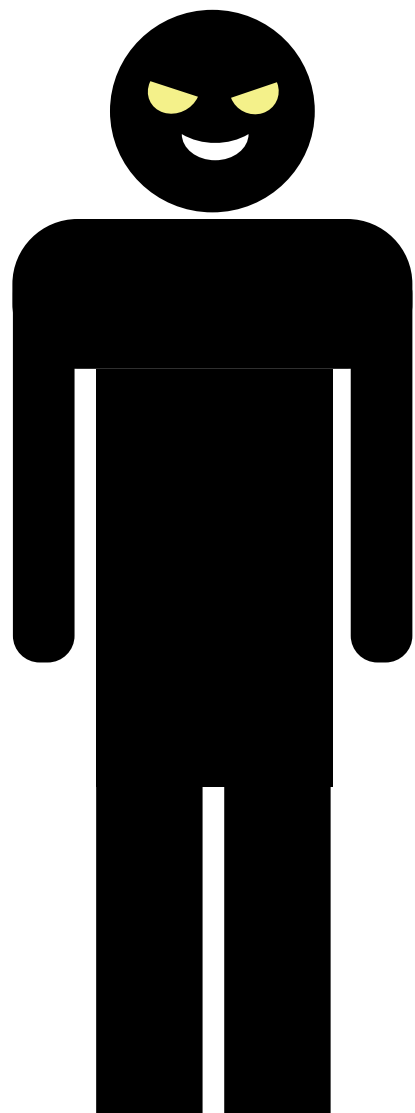
女性のモノ化・コントロールタイプ

付き合っている間に、裸や性行為時の画像を、被害者の恋愛感情を逆手にとって説得しながら撮影



関係が終了後に脅し・画像拡散する

加害者のトリックを知る①



① ザイオンス効果（単純接触効果）

はじめのうちは興味がなかったものも特定の人物から短時間に繰り返し接すると好意度や印象が高まるという効果



② 返報性（へんぽうせい）の原理

相手から画像を受け取ったら、お返しに画像を送らなければならないという感情

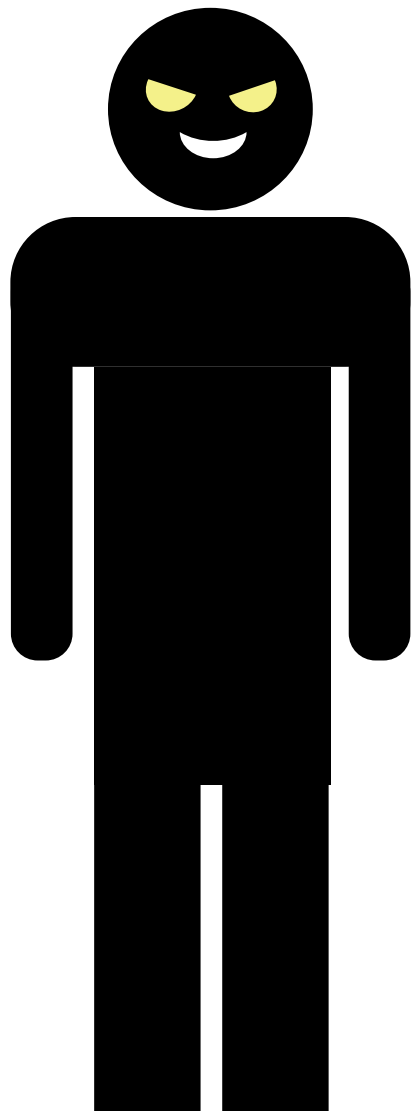


③ フット・イン・ザ・ドア

最初に相手に小さな要求をのませ、段々とその要求を大きくしていくことで目的となる要求を承諾させる心理効果



加害者のトリックを知る②



④正常性バイアス→パニックにさせる

男性の性的な写真や映像が脅しになるなんてない。男性が被害にあう認識を持ってない社会背景。



⑤恐怖心の喚起

性的な欲求による**興奮と恐怖**の感情を**脳が上手に区別できない**ことを利用



⑥考えるいとまや余裕を与えない

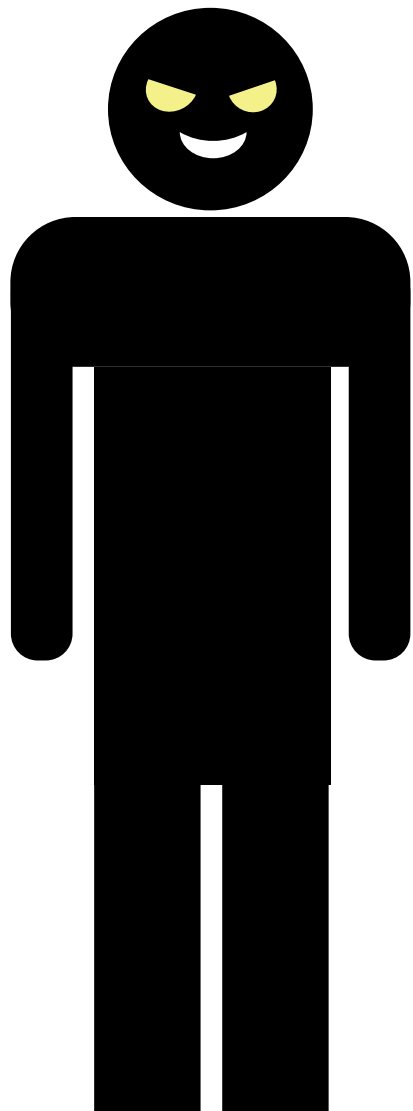
あと20秒・・・10秒で拡散するとカウントダウン



⑦認知的不協和の解消

罪悪感の低減として、消極的な解消法の選択。お金を払うことで最悪の事態は避けられる。これは**勉強代**だと言い聞かせ「**お金を払えば**」楽になれる。

加害者のトリックを知る③



⑧コミットメントと一貫性の原理



20万は払えないなら、いくらだったら払えるのか？
「2万だったら払えます」と言わせる

⑨ドア・イン・ザ・フェース（譲歩的要請）



「吹っかけておいて、少し譲歩する」というやり方
20万は払えないなら、2万で許してあげる。

「支払えば削除してくれる」は嘘

⑩フット・イン・ザ・ドア（譲歩的要請法）



最初は2万円振り込ませ、段々とその要求を大きくして
多額のお金を借金させてお金を支払わせる。

⑪サンク・コスト・バイアス（コンコルド効果）

繰り返しお金を払いつづけなければ拡散されてしまう。
騙されていることはわかっている、拒絶すれば、これまで
支払った額が無駄になるため、加害者のいう通りに、お金を
支払いつづけてしまう。

被害者がブロックできない心理的な理由



1. 「本当に拡散されるかもしれない」という恐怖

「ブロックしたら本当にばらまかれるかも…」という脅しを信じてしまう。恐怖が冷静な判断力を奪い「何もしないほうがマシ」と思わせる。

2. 加害者に「申し訳なさ」「罪悪感」を感じている

「自分で写真を送ったし…」「怒らせたらもっと悪くなるかも」

3. ブロック＝“完全に関係を断つ”ことへの不安

「相手の機嫌が分からなくなる」「やり取りの中で安全を保っている感覚」がある。支配下に置かれていた被害者にとって、むしろ「やり取りが続いているほうが安心」と感じる場合がある

加害者の心理操作から逃れる方法

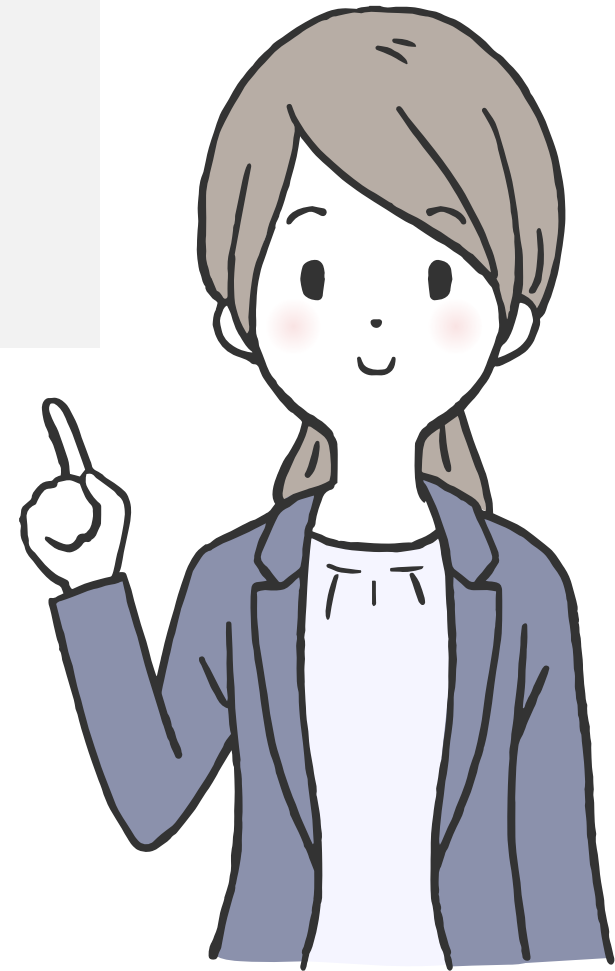
FACTをシンプルに伝える

- お金を支払うと、むしろ悪化（見込み客）
- 100万円払っても消してくれない（より悪化）
- 外国人の国外犯が大半なので国内法が使えない
- 放置していると「送付リスク」が高まる
- これは特殊詐欺である

対策

被害を最小限に抑えるために、唯一の選択であると伝える

早く、連絡がとれない状況をつくれば、相手はあきらめる



iPhoneが悪用されやすい

iPhoneには、電話番号と連携するメッセージアプリ（iMessage）やビデオ通話アプリ（FaceTime）が、初期状態からインストール



①iMessage

SNSで一般的な「友達リクエスト」や「承認機能」がなく
電話番号やメールアドレスで簡単に無料やりとり可能

加害者には電話番号が知られてしまう
複数のアカウントからメッセージ攻撃がくる



②Facetime

被害者の電話番号宛にビデオ通話が無料でできる
尚、加害者のFacetimeアカウントはGamilなど

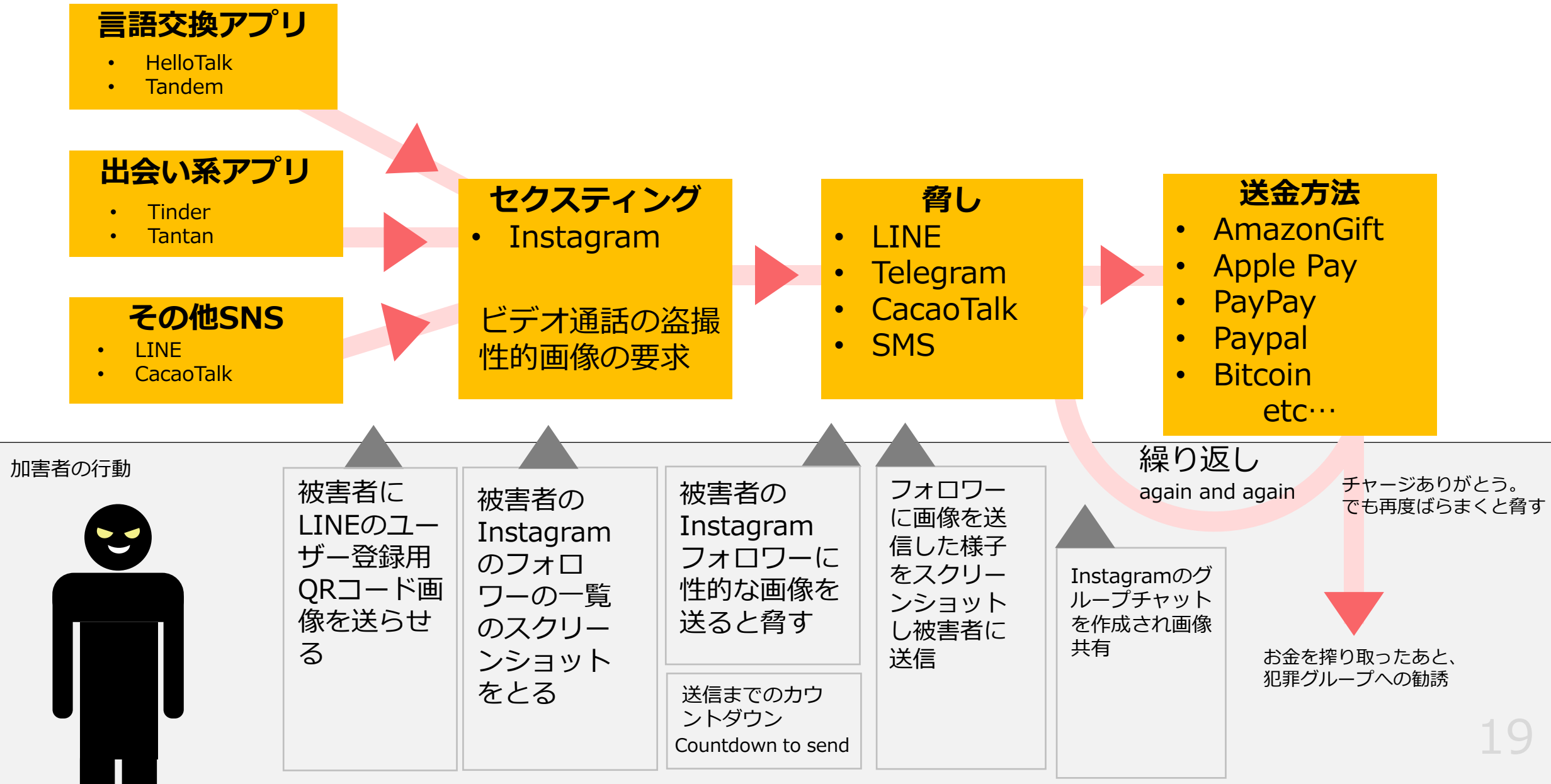
複数のアカウントから電話攻撃がくる



③Apple Card

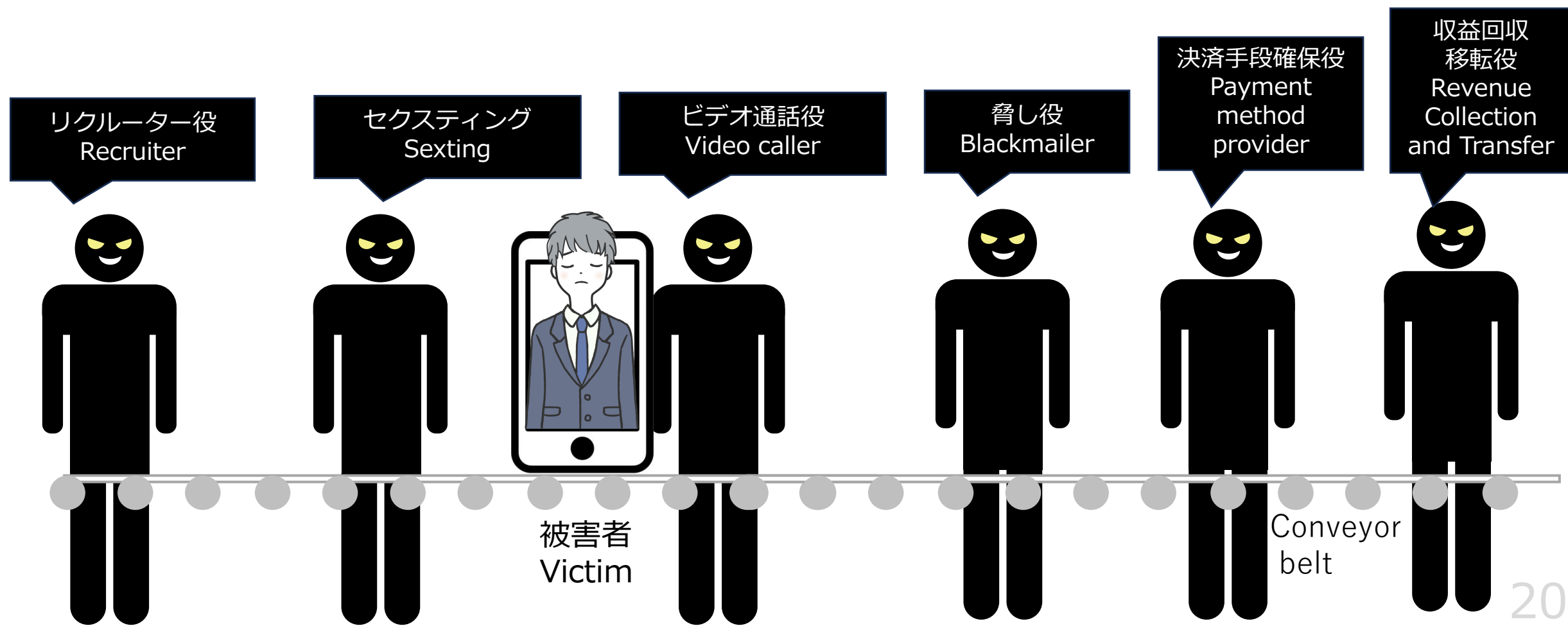
コンビニなどで子どもでも手軽に購入可能
犯罪資金の移転手段として悪用される

男性のセクストーション加害のフロー



金銭セクストーション工場！

これまでの被害者によせられた情報から、西アフリカ・東南アジア地域の犯罪グループが役割分業して荒稼ぎをしていると考えられる



セクストーションのターゲットになっているSNS

大手SNS



Instagram



X(Twitter)



LINE



KakaoTalk



Telegram



Discord



What'sApp



Snap chat

言語交換アプリ

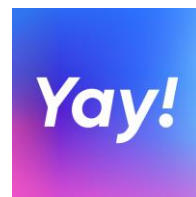


Hello Talk



tandem

出会い系アプリ



Yay!



ひまトーク



きいろ
ちゃっと



Tantan



Tinder

加害者のアカウントのブロックの仕方



Instagram

加害者アカウント
のブロック

グループチャット
作成の場合は退室

非公開アカウント
への変更

ユーザー名の変更

LINE

加害者アカウント
のブロック

グループチャット
作成の場合は退室

友達への追加許可をオフ

LINE IDでの追加を拒否

URL・QRコードでの追加を
拒否する

ID検索を拒否する

SMS・MMS・電話など

各キャリアの
設定を活用

ドコモ

https://www.docomo.ne.jp/info/spam_mail/spmode/sms/

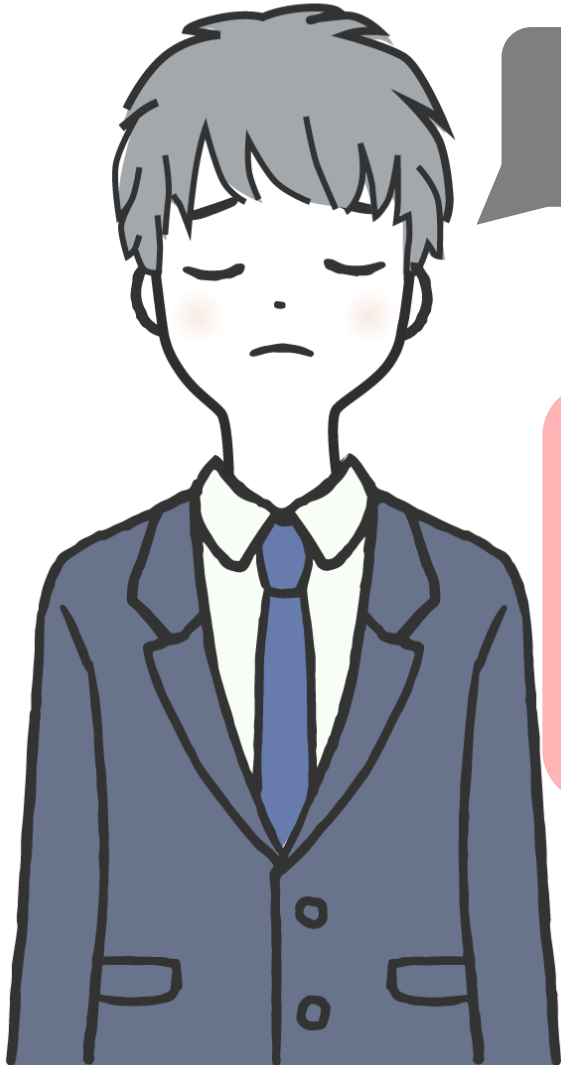
ソフトバンク

<https://www.softbank.jp/support/faq/view/11600>

AU

<https://www.au.com/support/service/mobile/trouble/mail/cmail/block>

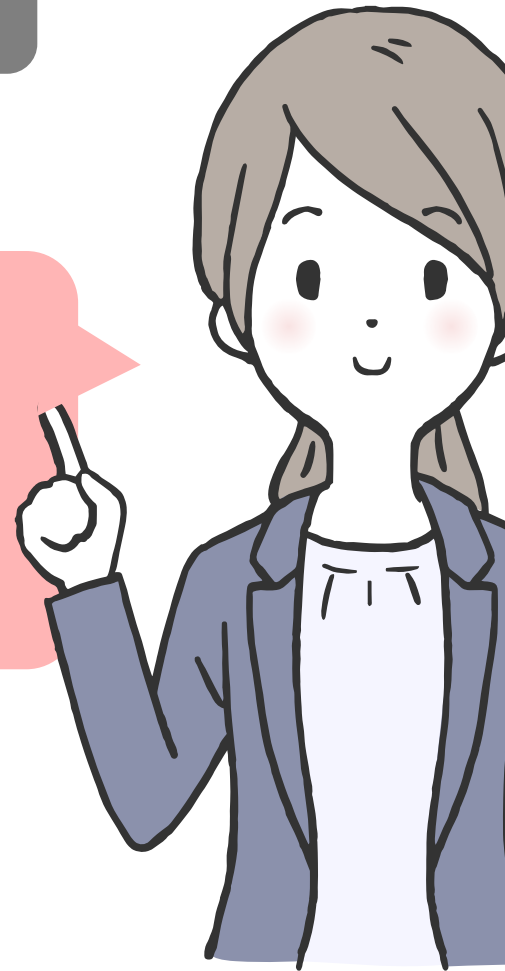
課題と対策①



まさか自分が被害に遭うと思ってなかった。

騙され側が悪いという自己責任が根深い

- ①総合的な被害救済制度を確立
- ②加害者の逃げ得を許さず訴追し処罰化
- ③新たな加害者を生み出さない施策



課題と対策②



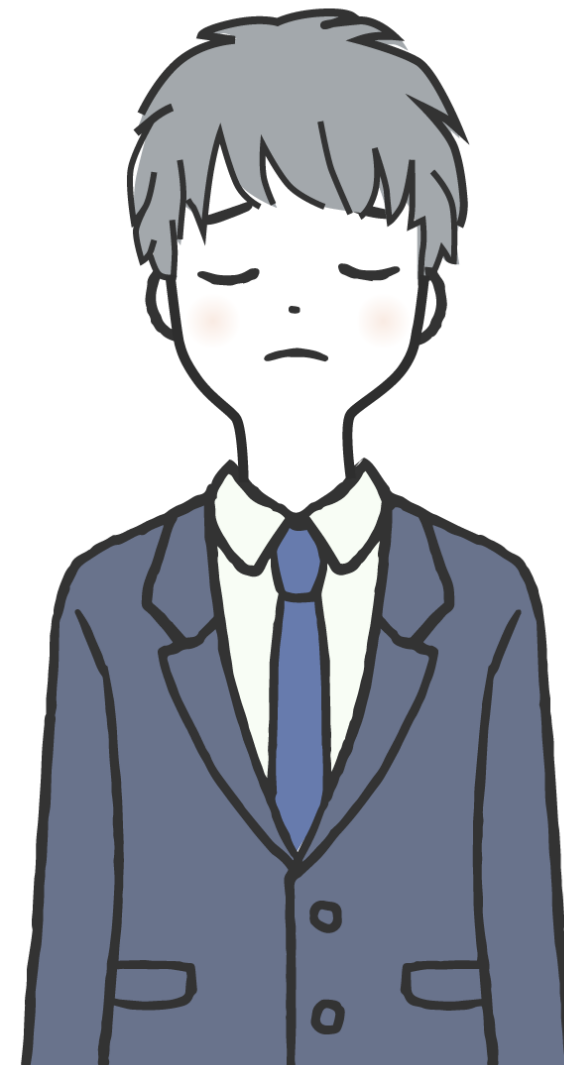
「自分でお金を支払われたのでサポートできません」
2025年5月：対応が若干変更により返金できる場合もあります。



「既にギフトカードが使われてしまったので返金できません」

- クレジットカード会社

「まだ支払い履歴が来ていないので対応できません」



課題と対策③

- 既に刑法（性的撮影罪・脅迫・恐喝・詐欺）に該当するが、脅迫（脅し）だけでは事件化が厳しい、実際にお金が支払われなければ警察は動けない。多くは外国人の国外犯なので所轄署では厳しい。
- 加害者をブロックする仕組みが煩雑。
- 金銭セクストーションの対策ページ・通報する仕組みがない。
- 返金機能がない

犯罪の温床になっている

法執行（警察）

- 警察庁（国際連携・代理処罰）

予防啓発

- 警察庁・文部科学省・内閣府
- 携帯キャリア・SNS事業者・決済事業者

ホットライン設置

- 警察庁・文部科学省・内閣府
- 携帯キャリア・SNS事業者・決済事業者

機能改善

- 携帯キャリア・SNS事業者・決済事業者
- Mobile Carrier SNS provider Payment Provider

NTTドコモ
Softbank
AU

Instagram
Facebook
LINE
KakaoTalk

Paypal
Amazon
Apple

現行法の課題

法令	課題
脅迫罪（刑法222条）	害悪の内容が「名誉」だけでは不十分 保有や拡散をほのめかす「示唆」は対象外
強要罪（刑法223条）	明確な義務のない行為を強制しても立件困難
リベンジポルノ防止法	公開・拡散「後」でないと対応困難
児童ポルノ禁止法	児童のみ、大人の被害は適用されない
不同意撮影罪(刑法234条の2)	本人の同意のうえで撮影した画像を、後から脅迫に使う 場合は使えない。ビデオ通話中の様子を盗撮した場合は 適用できる。
性的グルーミング罪	16歳未満・加害者との年齢差5歳差があれば適用できる

「同意のある撮影画像」を用いた脅迫行為等を明確に処罰対象とする条文は存在しない

- 性的画像の保有をほのめかす
- 公開・送信・見せる予告
- 削除と引き換えに金銭や性的行為を要求

- 性的画像をもとに、脅しや取引要求に使った時点での犯罪化必要
- プラットフォーム側の責任や削除義務

セクストーション被害対策の国別評価

国名	セクストーションに関する法整備	脅し段階で処罰	削除支援・被害者支援制度※1
アメリカ	州法+連邦法で対応	○	○ 民間支援団体が主導※2 (実務上[△]に近い) (全年齢対象)
イギリス	リベンジポルノ法	○	○ 政府支援団体に削除支援窓口※3 (全年齢対象)
オーストラリア	IBA犯罪(性的画像の非同意拡散・脅迫等)を刑法で明文化	○	◎ 行政に削除支援窓口 (全年齢対象、削除命令有)
韓国	性暴力特例法・通信網法・児童保護法	○	◎ 行政に削除支援窓口 (全年齢対象、削除代行)
台湾	性画像不当散布防止法	○	◎ 政府委託のNPO (全年齢対象、削除代行)
日本	一部リベンジポルノ法/脅迫罪等で間接的(構成要件が狭い)	△ (実務上[×]に近い)	× 公的窓口なし 被害者が自ら削除申請or 弁護士に依頼

※2オーストラリア・韓国より実質的に劣る

※3削除命令を出す法的権限はない

※1削除支援・被害者支援制度参考制度の各国の評価

<参考とした団体> 米国: CCRI・RAINN・FBI・VictimConnect、英国: Revenge Porn Helpline・Victim Support、オーストラリア: eSafety、台湾: 全国性暴力防止センター; 韓国: 女性家族部、KISA、KCC、日本: IHAHO・IHC・法務省人権ホットライン

<整備状況の評価> ◎は国家による削除命令権限を含む制度がある場合。○は相談・削除支援窓口があるが法的強制力なし。

△は制度上可能でも適用困難。×は制度・窓口なし。

拡散させない仕組み

How to prevent the spread of sexual images

18歳未満のかた：
<https://takeitdown.ncmec.org/ja/>



18歳以上のかた：
<https://stopncii.org>



ぱっぷすでは、相談者に対してこのツールの使い方をサポートし、SNS上の拡散を未然に防ぐことに繋がっています。

① 拡散された性的画像や動画から、固有のハッシュ値（デジタル指紋）を生成



② 提携しているSNS事業（Instagram、Tiktokなど）はハッシュ値と一致する画像を探す



③ ポリシーに違反する場合は、自動で画像を削除する

性的搾取を対処するための戦略基盤

特に女性と子どもの人身取引（性的搾取）を対処するための
戦略基盤として「5つのP」と「3つのR」

保護（Protection）

訴追（Prosecution）

処罰（Punishment）

予防（Prevention）

促進（Promotion）

（国際協力の促進）、

救済（Redress）

復帰（Rehabilitation）

再統合（Reintegration）



（国連特別報告者ジョイ・ヌゴジ・エゼイロ氏2009年7月12日より）